《平成 28 年 9 月 27 日　第 2 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏ビジョン懇談会資料》

「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン（案）」に関する
パブリックコメントの募集結果について

１　パブリックコメントの概要　Ｐ１
　（１）　意見募集期間
　（２）　意見提出状況
　（３）　意見の内容（項目別）

２　パブリックコメントの意見内容　Ｐ２

３　修正一覧表　Ｐ５

平成２８年　９月〇〇日　公表

企画財政部企画課

「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン（案）」へ提出された意見及びそれに対する考え方

「たつの市市民意見公募手続（パブリックコメント）実施要綱」に基づき、**「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン（案）」**についての意見公募を行ったところ、当該圏域住民の皆さんから貴重な御意見をお寄せいただきました。

提出いただいた御意見について、内容とそれに対する考え方、意見を参考とした修正内容及び作成した「**播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン**」を公表します。

なお、意見については、趣旨を損なわないように要約しました。また、無記名のものや賛否の結論だけを示した意見、今回の「**播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン（案）**」と直接関係のない意見については、市の考えは示していません。

１　パブリックコメントの概要

（１）　意見募集期間　　平成 28 年 7 月 25 日（月）　～　平成 28 年 8 月 25 日（木）

（２）　意見提出状況　　5 件

（郵送　2 件　　電子メール　1 件　　ファクシミリ　2 件　　持参　0 件）

（３）　意見の内容（項目別）

全体を通じての意見について（1 件）	全体意見（1 件）
医療圏域体制の充実について（11 件）	医療従事者、看護師の養成・確保対策事業（1 件）・医療従事者、看護師の定住促進事業（4 件）・圏域内公立病院差額ベッド代助成事業（4 件）・医療従事啓発事業（2 件）・県立粒子線医療センター連携事業（1 件）

高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実について（1 件）	高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業（1 件）
学校教育・社会教育の充実について（1 件）	児童・生徒交流事業（1 件）・電子図書館事業（1 件）
雇用・企業等誘致の推進について（1 件）	政府関係機関の誘致（1 件）
地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施について（1 件）	人財イノベーション推進事業（1 件）

２　パブリックコメントの意見内容

項目	提出された圏域市民からの意見	件数	考え方
全体意見	圏域名称が「播磨科学公園都市圏域定住自立圏」となっているが、播磨科学公園都市を中心とした計画を検討すべきではないか。また、各自治体単独で実施できる事業もあり、圏域全体に影響がある事業を検討すべきではないか。	1 件	本圏域は、「播磨科学公園都市」を核とした生活圏や経済圏を共にする市町が形成した圏域で、相互に連携・補完しながら圏域住民が快適に暮らし、誰もが住み続けたいと実感できる圏域を目指していきます。「播磨科学公園都市」の活性化等については、兵庫県（企業庁）をはじめ、関係機関と連携・協力し、引き続き取り組んでいきます。また、当該ビジョンについては、5 年間の計画で毎年度見直ししていく中で、圏域全体に事業効果が波及し、魅力あふれる圏域づくりに資する連携事業について、実施・検討していきます。
医療従事者、看護師の養成・確保対策事業	たつの市・宍粟市と佐用町・上郡町との役割分担に違いがあるのはなぜか。	1 件	従前から、民間病院及び公立病院では、医師や看護師等を確保し、地域医療の充実を図るため、医師や看護師、助産師を目指す学生に対し、修学資金を支援しています。当該制度を実施・周知していく上で、たつの市・宍粟市は公立病院を有しており、当該病院事業として医療収益をもって実施することから、佐用町・上郡町との役割分担に違いが生じています。

医療従事者、看護師の定住促進事業	公立病院に勤務する医療従事者を対象とした事業であり、民間病院に勤務する医療従事者を対象としていないため、不公平を感じる。民間病院も含めた支援が必要ではないか。	4件	本圏域における医療従事者や看護師の不足については、民間・公立病院共通の課題であり、関係医師会と連携し、圏域内の医療従事者、看護師の確保につながる事業になるよう制度設計を見直します。
圏域内公立病院差額ベッド代助成事業	公立病院のみを対象とした事業であり、民間病院の経営を圧迫する恐れがあるのではないか。	4件	たつの市民病院及び宍粟総合病院の入院時の差額ベッド代（特別療養環境室料）については、現在、市内在住の方と市外の方とに差があります。そこで、この差を圏域住民の方が利用した場合には、市内在住の方と同額となるよう差額を助成するものです。
医療従事啓発事業	公立病院に限らず、民間病院も含め、紹介すべきではないか。	2件	民間病院も含めて紹介できるよう調整します。
県立粒子線医療センター連携事業	最初に過去の圏域内利用者の調査をすべきではないか。	1件	県立粒子線医療センター創設時からの圏域市町別利用者総数は、事前調査し把握しています。（H14～H27：168名）粒子線治療費は高額であるため、圏域住民への支援制度を検討していますが、既に県が無利子貸付制度を実施しており、また、生命保険において先進医療治療に対応するタイプも出てきている中で、今後、県立粒子線医療センターと連携し、支援のあり方等について総合的に検討していきます。
高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業	兵庫県が実施している「防災ネット」情報以上のことが実施できるのか。	1件	本圏域では、高齢者等の徘徊を未然に防ぐ対策として、徘徊対策グッズの支給を考えています。また、圏域での徘徊模擬訓練や認知症サポーター養成講座の開催なども検討しています。なお、兵庫県が実施している「防災ネット」については、引き続き利用登録を呼びかけていきます。
児童・生徒交流事業	SPring-8の施設見学会を実施する中で、小・中学校の理科の学習指導要領の範囲を超えた内容で、事前準備が必要である。	1件	本事業は、身近にありながら意外に知られていない圏域が誇る世界最高性能施設のSPring-8について、国立研究開発法人理化学研究所職員が、小学生にでも理解できる学習内容で、分かりやすく説明していく内容となっています。

電子図書館事業	電子図書館は便利ではあるが、図書館としての基本的な整備と情報発信の統一が必要ではないか。	1件	図書館の電子化は、上郡町を除く2市1町で既に整備済みです。また、上郡町においても、電子化に向けて整備を進めていく予定です。なお、現時点では、電子書籍を扱うシステムは、各館の図書館システムとは連携させず、独立したシステムで運用することを考えています。
雇用・企業等誘致の推進	政府関係機関の誘致を実現してほしい。	1件	引き続き、関係機関に要望していきます。
人財イノベーション推進事業	「人材」の誤りではないか。イノベーションの概念と結びつかないのではないか。	1件	「人財」については、「人（ひと）こそ財（たから）」という意味を表しており、兵庫県立大学で研究されている独自の事業名です。当該事業は、兵庫県立大学の学生や地元企業人等と公が連携し、圏域の共通課題を調査研究する中で、圏域施策を検討し反映していくものです。なお、たつの市においては、2016（平成28）年3月に兵庫県立大学と包括的な連携協力に関する協定を締結しています。

３　修正一覧表

※皆さんよりいただいた意見を参考に、下記のとおり修正しました。（下線箇所）

項目	修正前	修正後	修正理由
医療従事者、看護師の定住促進事業	（連携事業名） 医療従事者、看護師の定住促進事業	事業内容の再検討	医療従事者や看護師の不足については、民間・公立病院共通の課題である中で、関係医師会と連携し、制度設計を再検討します。
圏域内公立病院差額ベッド代助成事業	（事業内容） 圏域住民が、たつの市民病院及び宍粟総合病院に入院された場合の差額ベッド代を助成する。	（事業内容） たつの市民病院及び宍粟総合病院の入院時の差額ベッド代（特別療養環境室料）については、現在、市内在住の方と市外の方とに差がある中で、この差を圏域住民の方が利用した場合には、市内在住の方と同額となるよう差額を助成する。	圏域住民の方が、圏域内公立病院を利用した場合には、市内在住の方と同額となるよう差額を助成する事業であるため、事業内容を修正します。
	（事業費見込） 平成 28 年度　2,185 千円	（事業費見込） 平成 28 年度　0 千円	平成 28 年度は、制度周知・事務調整の期間とするため、事業費を 0 千円とします。
医療従事啓発事業	（事業内容） たつの市民病院及び宍粟総合病院の医療従事者が、職務内容を紹介するパンフレットを協働作成し、圏域内の中学校・高等学校に配布する。	（事業内容） たつの市民病院、宍粟総合病院及び圏域内民間病院の医療従事者が、職務内容を紹介するパンフレットを協働作成し、圏域内の中学校・高等学校に配布する。	民間病院も含めて紹介できるよう調整します。